

伊久身幼稚園の学校再編計画（案）説明会 記録

1 日 時 令和元年6月20日（木）午後7時から午後8時30分まで

2 会 場 伊久身幼稚園

3 参加者 伊久身幼稚園保護者、伊久身住民、伊久身幼稚園
島田市教育委員会

4 参加人数 21人（保護者15人、地域住民1人、幼稚園5人）

5 園長あいさつ

来年入学した子は、5年生のときに統合となる。保護者の皆様のお子さんのことを想像しながら話を聞き、不安なことやわからないことがありましたら質問をして、ぜひ、有意義な会にしてほしい。

6 教育委員会より説明

（1）再編計画（案）について

平成27～28年に学校の在り方検討会を行い、地域総ぐるみの教育、夢育・地育、小中一貫、の3つの方向性が示されました。また、これらを進めるにあたっては、「複式学級が連続する状況では課題がある」とスケール規模についても話し合われました。これを受けて、平成29～30年には教育環境の適正化検討委員会が設置されました。この委員会では、北部4校と北中を合わせた小中一貫校を作る案も出ましたが、一学年20人以下となった場合は早期統合を検討すべきとの意見でまとめ、北部4小学校だけの統合では近い将来また同じように統合を行う必要が出てきてしまうため、平成30年9月に提出された提言書の中からは削除されることになりました。教育委員会では、提言書を基本方針にして、島田市学校再編計画策定委員会を立ち上げて、再編の時期等を加えた学校再編計画（案）の作成を進め、これから説明する案ができあがりしました。今回の計画では島田第一小学校の改修に合わせて、令和6年度を統合時期としています。

7 計画（案）の内容説明

（1）統合時期

北部4小学校と島田第一小学校は島一小の改修・改築に合わせて令和6年4月に統合、北中学校と島田第一中学校は部活動等の理由でできるだけ早い統合を求められる中、最短で実施できる令和3年に統合という計画となりました。

（2）通学方法

学年によって下校時刻が変わることがあってコミバス対応は難しいため、小学校中学校ともにスクールバスを考えています。

（3）学校間交流活動

まずは北部4小学校による学校間交流を進めて北部の児童たちの関係作りを行いまして、その後、島田第一小学校との交流にも力を入れて、島一小の児童にも新たな仲間を受け入れる態勢づくりを浸透させていきます。

（4）教員の配置

もともとの学校にいた教員を島一小に配置していきます。

(5) 特色ある教育

伊久身で自然体験ができる教育活動を残していきます。

(6) 特認校

伊久美小学校を統合することになりますので、実施校を他校に変更する予定です。

(7) 学校の跡地

副市長をトップとした市役所の幹部職員で学校施設跡地利活用検討委員会を設置し、地域の意見を取り入れながら、地域づくりを絡めて検討していきます。

8 質疑応答

●校名は、第一小学校、第一中学校のままで変わることはないのか。変わる可能性がある場合、北中は間に合うのか。

⇒学校カリキュラム等検討委員会の中で、保護者や地域の皆さんの声を聞きながら決めていきます。また、変更することになったとしても、スタートと同時でなくても構わないと思っています。

●昔、北中には寮があったが、考えていないのか。

⇒考えていません。スクールバスでの登下校の確保をしていきます。

●大人数になじめなかったときの救済措置はあるのか。

⇒現在も学校を変える特例を設けています（指定学校変更制度）。いじめ等の対策も可能です。

●バス通学するための道路が危険なので、整備してもらいたい。

⇒道路整備は計画的に少しずつ進めています。

●北部4小学校の子たちは一つのバスで通学するのか。何箇所もまわると時間がかかるので心配である。

⇒乗降場所まで出てきてもらうことになると思います。また、バスは数台用意します。

●犬間ですが、現在一人しかいない。暗い山道なので保護者が対応しており、今後、共働きの我が家は大変である。何箇所かに見守りの人がいてくれたらいいが……。何年も前から市に伝えてきているが変わらない。小さい車でもいいので犬間まで来てほしい。

⇒市全体をみると、川根地区などもあるためこれまではあまり良いお答えができませんでした。しかし、今回は統合と絡むため、他地区よりは柔軟な対応をしていきます。

⇒地域の方に送迎などの協力を得られたらありがたいです。相賀地区では、地元から路線までの自主運行も少し考えてくれているようです。

●バスにしたって、40分間乗ることで健康問題やトイレなども心配ではないか。そうしたこともしっかりヒアリングしてほしい。

⇒スクールバスなので、途中のコンビニ等に立ち寄るなど柔軟な対応が可能です。

●犬間には高齢者しかおらず、送迎をお願いできそうもない。

⇒犬間だけで考えるのではなく、もう少し広い範囲での考えていただけたらと思います。

●島一小側はどう思っているのか。

⇒学校ではPTA役員には少しずつ話してきていますが、全体にはこれからお伝えしていくこととなります。

●運動会等に行く場合の駐車場はどうなるのか。バスのターミナルもあるといいが。

⇒改築となった場合は、駐車場の確保までも考えた工事ができると思います。島一中のグラウンドを借りることも一つの案だと思います。学校の中にターミナルを作るといっそう駐車場がなくなってしまうので、バスについては通り抜けを考えています。

●統合してからも、伊久身の自然をいかした活動をするために児童たちを連れてきてほしい。

⇒サタデースクールは人気が高いですし、価値も高いです。移動教室としても小学校で利用していますので、今後も続けていきます。

⇒サタデーの大人バージョンを考えてくれている方もいますので、ぜひ発展していきたいです。

●放課後児童クラブは入れるのか。

⇒島一小の設計をする段階で、関係部署と相談しながら取り入れていくこととなります。

⇒一つの案として、跡地利用の中で北部地区の子は神座小で放課後児童クラブをとということもありえると思います。

●統合が決定したあとも、こうした小さな人数での話し合いをしてほしい。また、統合したあとも各学校を回って続けていくと良い。

⇒よろこんでお話伺います。

●バス酔いがひどいので先生をつけるなりの対応をお願いしたい。乗り続けられなくなるかもしれないが、毎日薬を飲むのはどうかと思う。

⇒この場で結論は出せませんが、前転などの運動も三半規管を鍛えることに効果があるようです。

●大きな学校だと運動会の場所取りがある上に、子どもを捜すことも一苦労と聞いた。年によって開催場所を変更することはできないか。

⇒場所取りはPTAと学校で話し合っているとと思います。開催場所の変更は人数的に難しいと思いますが、地域の中で運動会を残していくことも良いと思います。

●一番の当事者である子供たちの声はどうでしょうか。子供たちには伝えているのか。

⇒小学校1・2年生の子供たちには何年も先のことをイメージすることは難しく、結論を求めるのは厳しいです。考えていくのは、保護者の皆様と私たちの責任だと考えています。